



重長 教師や生徒たちが精神的に不安定になっていないか。

教育長 休校中も再開後も、教師や生徒たちが精神的に不安定になっていくことはありません。

休校中は、児童生徒の様子をできるだけ対面で把握できるよう、定期的な家庭訪問を行い、きめ細かな対応を取ってきました。

また、再開後は、児童生徒の学習進度の把握や心身の状況に注意を払い、気になる児童生徒には、個別に学習支援やスクールカウンセラーなどによる教育相談等も実施しています。

コロナ禍における学校教育の実態について

重長 英司 議員



答 児童生徒に学習や生活面に不安を持たせないよう努める

重長 学力保障の取り組み状況は。

すこのないよう十分に注意を払っていきます。

量の校内ネットワークを整備します。

教育長 各学校がそれぞれの実態に応じ、教科書と併用できる教材の作成や自校のホームページを活用した自作動画の配信を行うなど、工夫を凝らした学習指導を行ってききました。

重長 今後の進行計画は。

教育長 来年度から1人1台の端末環境で、デジタル教材等を日々の授業でも活用した多様な学びが実現できるよう、今年度末までに端末整備と校内通信ネットワーク整備の完了を目指します。

重長 デジタル教材を活用することで、児童生徒一人一人の学習の進捗状況を可視化でき、よりきめ細やかな対応や工夫を凝らした学習指導ができるようになります。

重長 新型コロナウイルス感染症による臨時休校をきっかけとする不登校やいじめの発生状況は。

教育長 7月末現在、臨時休校をきっかけに不登校になったり、イジメを受けたたりしている児童生徒はいません。

今後、児童生徒の発する小さなサインを見逃

すことのないよう十分に注意を払っていきます。

重長 通信インフラの整備は、今後どのように進めるのか。

教育長 多数数の児童生徒によるインターネットへの同時アクセスに対応できるように、高速で大容量

の校内ネットワークを整備します。

インターネットで本会議の映像を視聴できます。

本会議のライブ中継・録画映像は、ご自宅のパソコン、タブレットやスマートフォンから視聴できます。

次のアドレスまたは右側のQRコードからアクセスしてください。
(<http://www.kensakusystem.jp/etajima-vod/index.html>)



※定例会および臨時会の開催日程は、江田島市ホームページに掲載します。



上本 荒廃農地を活用しオリーブ以外の作物栽培を始める際の補助制度について伺う。

産業部長 自己所有地以外の耕作放棄地の整地・抜根に要する経費の2分の1以内、10000平米当たり5万円を上限に、また、土壌改良に要する費用の2分の1以内、10000平米当たり2万5千円を上限に補助する「耕作放棄地対策事業補助」があります。

上本 同じ荒廃農地を活用した農業であっても、オリーブ以外の作物に対する補助は、オリーブに対するものよりも不利なものとなっており、新たに農業を始める際のハ

農業・漁業の活性化に関する質問

上本 一男 議員



答 農業者や漁業者、関係団体などと連携し、活性化に努める

上本 本市で暮らす高齢者約1万人の中には、新規就農意欲はあるが、農業を始める際の初期費用を理由に新規就農を断念している人が一定数いると考

えら。これらの人が農業を始めやすい環境を整備し、市の農業を活性化させるため、補助制度の見直しをはかりたい。

下している船舶を有効活用するため、従来の漁業から観光漁業へ転換を促進することがこの問題の解決策の一つであると考えらる。

産業部長 農地バンクの確立が不十分で、貸したい人と借りたい人のマッチングが思うようにできていない状況です。

上本 荒廃農地を新たな観光資源として有効活用するため、タマネギ畑として整備し、タマネギ狩りをしてはどうか。

そこで、漁業者が観光漁業を始めるに当たって必要な費用の一部を補助するとともに、本市の観光漁業の魅力をもっと発信し、大々的に宣伝すべきと考えらるが、市の考えを伺う。

産業部長 農地バンクの活用する上で、農地バンクの早期確立が重要であるが、現在の進捗状況は

産業部長 毎年、市内外から多くの観光客が訪れている、いちご狩り、ミカン狩りなどと同様に、タマネギ狩りも、今後の可能性を秘めていると考えます。

上本 不振にあえぐ漁業者への支援と稼働率の低

産業部長 観光漁業に取り組むためには、漁船の検査や保険、人数分の救命胴衣など、多額の初期費用が必要となります。観光漁業への需要と供給のバランスを調査しながら補助制度創設を検討します。

定例会および臨時会の賛否表はこちらのQRコードから閲覧できます。



議長の動き・議会の動きはこちらのQRコードから閲覧できます。

